

# 社会で支える健康づくり



## 中間評価時の現状

地域の人たちとのつながりは強い方だと思える人の割合は、働きざかりは男女とも熟年よりも割合が低く、平成25年度よりも減少しています。

地域の交流毎に地域のつながりと助け合いについてみると、あいさつは差が少なく、つながりや助け合いを強く感じる人ほど、近所づきあいや区の行事への参加、ボランティア活動をしている人の割合が高くなっていました。

地域を支える自主グループの健康づくり活動の支援を行っています。

世代を超えたつながりを深めることを目的にスポーツ大会を開催していますが、不参加の地域が多い状況です。

小中学校では地域の協力を得て、学校行事の運営をしています。

保育園では、老人クラブや介護施設へ出向き、世代間交流をする機会を設けています。

まつりや講座等を企画し、世代間交流をする機会を提供しています。



## 中間評価における取り組み

地域のつながりが健康づくりに影響すると考えられており、地域が一体となって、個人や地域の健康に対する意識を高めていく必要があります。



## 今後の取り組み

